

海外短信



～ インド ～

インド女性のファッション

尾張精機(株)

インド女性のファッションと言えば、誰もが知っている『サリー』です。弊社の経理担当のインド人女性にご協力いただき、今回はインド女性のファッションについて『根掘り葉掘り聞いて』調べた結果を紹介させていただきます。

サリーはインドに何千年も前からあるファッションで、紀元前 100 年頃にはサリーのような装束の女性が既に絵に描かれているそうです。ですから、日本の着物や韓国のチマチョゴリのように複雑に発達した装束かと思ったら、これが単なる 1 枚布なのだそうです。

サリーの大きさはいろいろですが、概ね 5m×1m くらいで、要するに 1 枚の布をグルグルッと身体に巻きつけているだ



伝統的なサリー



チュディダ

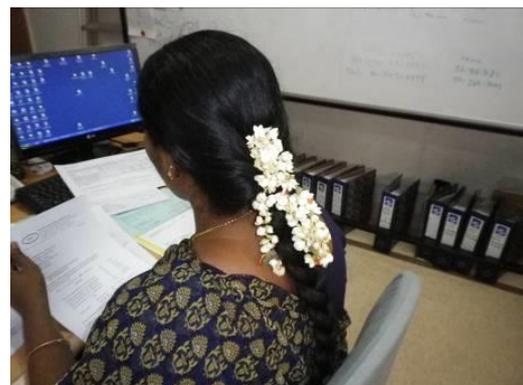
けです。(サリーの下、上半身はブラウス、下はペチコートを着るそうです。) 大きな声では言えませんが、1 枚布なら多少サイズが変わっても…、ということなのでしょう。

これに対して子供や若い女性を中心に、『チュディダ』というファッションが主流になっています。これはパジャマと呼ばれるスリムなパンツに、クルタと呼ばれる長い丈のブラウスのようなものを合わせたファッションで、動き易さがサリーとは違うのだそうです。

近年バンガロールでは近代化、欧米化が進み、若い女性のファッションとしてジーンズがかなり多くなっています。我が家の近所の大学では、見た感じではありますが概ね 60% くらいがチュディダ 40% くらいがジーンズでしょうか。バンガロールの街中には多くのジーンズ・ショップがありますので、こうした欧米風のファッションは生活の上で非常に身近になっています。

また、インドではほとんどの女性が後ろで髪をまとめています。大人の女性は髪を一本に、子供(だいたい高校生くらいまで)は両側 2 本で三つ編みにしています。

私はインドへ来て 5 年目に入ろうとしていますが、先日あることに気がきました。インドの女性の髪には、いつも生花がつけてあるので、生花なので、もちろん良い香りもします。



インド女性は髪に生花をつけています

私は生物の成績が悪かったので全然知りませんでしたが、これがあのジャスミン茶のジャスミンだそうです。(なんか金木犀のような香り?です) そう言われてみれば、街で見かける多くの女性たちが髪に生花を付けていて、その多くが白っぽい生花(たぶんジャスミン?)です。

さて、このジャスミンをどのようにして髪に留めるかといいますと、小さなピンで髪に留めているだけだそうです。生花は小さな花を手作業で数珠繋ぎにしたもので、値段は聞いた人によって様々でしたが、概ね10ルピーから20ルピーということですので15~30円くらいでしょうか。

価格は季節的に変動するのでもっと安い、という人もいますが、このような生花を毎日髪飾りに使うことが出来るなんて日本では考えられないことですので、インドの女性は非常に幸せなんでしょうが、でも、これが毎日になると案外たいへんなのかもしれない。

2011年に人口12億1000万人を超えたインドでは、羨ましいことに24歳以下の若年層が人口の約50%(約6億人)になります。欧米化された生活に慣れた6億人の若い人達が、次にインドの中心となって社会を動かして行くようになり、さらに経済発展が持続することによって彼らの生活スタイルも大きく変わるでしょう。しかし、欧米化が加速度的に進んだ時、サリーや伝統的なファッションがどうなってしまうか、少し心配です。